

浅野委員

(将来交通量について)

分割・転換率併用配分が基本であることは理解。但し、引き続き均衡配分の適用の可能性も検討すること。

大型車にも着目することが必要。

生活を支える物資を円滑に輸送するといった観点から、身近な感覚に訴えた説明に心がけること。

(感度分析について)

人口・GDPの感度については他の委員会の紹介だけでなく、分析判断が必要ではないか。

誘発交通量については引き続き検討すること。

竹内委員

(将来交通量について)

大型車の交通も示すべき。

設定料金については、首都高速道路に対距離制が導入されれば交通の流れに影響が出ることが考えられる。感度分析をしておくことが必要。

公共交通機関の分担の変化を考慮しなくてよいか。